

酒生いきいきバス2年

酒生いきいきバス新聞

2周年記念号



酒生いきいきバスは
夢とロマンを
ガタゴト
の道も走ります

どこからともなく
楽しそうな会話が
きこえてきそうな
酒生いきいき
バス

発行
酒生地域コミュニティバス
運行協議会事務局

平成23年4月の運行開始以来、酒生地域の
人たちの足として、地域活動やイベン
ト会場への送迎バスとして地域住民に親
しまれている「酒生いきいきバス」も、
今年の4月1日で丸2年を迎えることにな
りました。
昨年12月末時点での利用者数も、延べ6
000人と、徐々にではありますが増加傾
向にあります。

昨年末の利用者数は
延べ6000人

いよいよ今年が正念場

酒生地域のみなさん。

さあ〜！今年「酒生いきいきバス」の
運行継続をかけた勝負の年になります。

私のオススメは、始発第一便
(2面参照)

朝一番

ぐるぐると酒生〜東郷一周バスの旅

みなさん！
いっぺん乗ってみてんでのお〜

酒生地域コミュニティバス運行協議会

会長 桜川幸夫



「酒生いきいきバス」の歴史は ここから始まる！



高尾第一自治会での住民説明会

平成22年10月、「酒生いき
いきバス」運行の足がかりと
なる住民説明会が高尾第一自
治会木楽館で開催されました。
この説明会には、福井市役
所地域交通課をはじめ、地域
代表として福井市議会議員堀
江廣海氏も出席され、会場に
は高尾第一自治会はもとより、
高尾自治会や酒生地区内の自
治会長や住民が、会場に入り
きれないくらい大勢出席され
ての開催となりました。

移動できる手段として、「コミ
ニティバスがあればいいな
と思ったのがきっかけでした。
説明会にはビックリするほど
の地元住民の方に参加してい
ただき関心の高さを知らると共
に意義ある説明会となりました。
現在、「酒生いきいきバ
ス」が試行運行されています
が、私が今、自慢できること
は、全く無知の中から運行協
議会を立ち上げるまでの資料
作成や情報収集など優秀なス
タッフ(現在の事務局)の人た
ちに恵まれたことです。」と、
当時の様子を振
り返っていました。



H23.4.1 酒生地域コミュニティバス試行運行開始



試行錯誤の中、各地区の自治会長を中心に運行協議会を立ち上げ、幾度と無く会議を開き皆さんの要望をもとにコースや時刻表を作成し、平成23年3月26日(日)オープニング運行出発式にこぎつけ、翌月4月1日(金)試行運転開始となりました。

その間、運行協議会のメ

地域全体の協力に感謝!

ンバーをはじめ、地域全体の協力に感謝!

各地区を対象にバスのネーミングを募集した結果、「酒生いきいきバス」に決定。地域のみならずにも親しみやすいバスになりました。

現在、利用促進も含めた各イベントや行事、冬季には中学校の足代わりと、定着しつつあります。



酒生地域コミュニティバス運行協議会役員 H25/1

役職	名前	自治会名
会長	桜川 幸夫	成願寺町
副会長	前川 育雄	高尾第一町
副会長	小谷 政之	篠尾町
副会長	村田 忠一	荒木新保町
副会長	荒川 逸雄	梅野町
任幹事	吉村 幸男	荒木町
常任幹事(幹事)	宮越 次二	荒木新保町
常任幹事(幹事)	山本 好之	篠尾台町
常任幹事	牧野 順好	高尾町
常任幹事	山下 典行	稲津町
常任幹事	古市 典夫	宿布町
常任幹事	丸山 二三雄	前波町
〃(事務局長)	清水 豊弘	高尾第一町
幹事	小林 靖雄	前波町
幹事	古市 一夫	宿布町
幹事	吹矢 進	篠尾町
幹事	高村 市守	梅野町
幹事	牧野 晃	高尾町



～各種イベントにも大活躍～

地区体育大会・遺跡まつり・いきいき文化祭



顧問	堀江 廣海	市議会議員
	荒川 勝	連合会会長
	宮本 巨	公民館館長

事務局	齊藤 茂文	高橋 正勝
	谷口 尚博	平成江
	江川 勝英	本國多恵(会計)

利用促進運動の紹介

紹介しま～す



利用促進企画第1弾 高尾第一自治会



「酒生ぐるっとバス巡り」

平成24年7月14日(土)
高尾口始発のバスに乗って酒生地区へ東郷周り約30分の小旅行を楽しんできました。

参加者のみなさんは、日頃からの仲良しグループの方たちで、光川運転手ともすでに顔なじみ。早朝のバスにも関わらず、

みなさん元気な声で「又、いろんな企画にもみんなで参加させてもらいますよ。」との、ありがたい言葉をいただきました。



常日頃から心がけていることは「安心と安全を第一に、乗っていただいたお客様に感謝し気配りを忘れないこと」と話す、
光川繁美運転手。

「最近、いきいきバスを利用してくれる方も増えてきて、毎日張り切って運転しています。皆さんもどしどし利用してください。待ってますよー!」

ちなみ趣味は、愛車の旅行たそけです...

「いきいきバスに乗って買い物ツアー」梅野町子供会 利用促進企画第2



お買い物ツアー！

夏休み最後の土曜日、8時9分発梅野町から酒生いきいきバスに乗って防災センターへ。

センター内では、地震や台風の模擬体験をして、隣接する東消防署では、消防車や救急車の説明や乗車体験もさせてもらい参加者は終始笑顔。

見学終了後は、今回の目玉企画「東部プラザでのお買い物」。



あ〜！怖かった・・・



8月25日(土) 梅野町子供会の企画による利用促進策第2弾「いきいきバスに乗ってお買い物ツアー」を実施。今回、バスに乗るのが初めての子どもたちや親子がほとんどでしたが、とても楽しかったみたいで、「子供たちだけで乗せても安心な気がしました。今回のことを通じて、乗ってみなくては分からない事がたくさんあることに気がつきました。これからもこの貴重な体験をもとに、子供たちと一緒にいきいきバスを利用してほかの地区に行って交流を深めたいと思います。」と話す、吉田さん(平成24年度梅野町子供会会長)



300円という金額設定の中、子供たちがお買い物に挑戦！

その中で、300円ピッタリが何と2人も。これには、大人たちもビックリ仰天！

このあとは、自分たちが買ったおやつで休憩タイム。

サッカーをしたりシャボン玉をしたり仲間同士や親子で触れ合いました。

「いきいきバスで遺跡巡り」

高尾第一自治会 利用促進企画第3弾

9月8日(土) 高尾第一自治会と酒生地域コミュニティバスを使った利用促進イベント第3弾「いきいきバスで酒生遺跡巡り」を実施。

当日は、成願寺町から桜川幸夫さんを語り部としてお招きし、今回の目的地「波着寺跡」を見学しながら、「波着寺」に関する歴史を語っていただきました。

その後も、秋の気配を感じながら「五重塔跡」や「古墳群」の散策を満喫しました。

参加者の一人は、「自分の住んでる身近なところに、こんなにもたくさんさんの歴史があるとは」と、大変満足気に話していました。



見よ！この迫力ある手作り地図

当日の朝、手作りの巨大地図やたくさんさんの資料を両脇に抱えて桜川さんが登場！

今回の目的地の一つである「波着寺跡」に関する簡単な基礎知識を、バスの出発時刻に合わせて約30分ですが講義を聞きました。

桜川さんの、酒生地区に対する深い愛情と、数々点在する遺跡や歴史に関する熱い思いを感じながら、ユーモアたっぷりで見学したある語り口は、会場のみならず身乗り出して聞くらう楽しい内容でした。



桜川さんの講義を真剣に聞き入る参加者のみなさん

一行を乗せたバスは、「波着寺跡」に到着!



9月とは言っても、まだまだ残暑の中、波着寺跡があるこの場所は、ひと時の暑さを忘れさせてくれる涼しさ、何とも言えない静寂さがあり心休まる場所でした。

みなさんも、何かの機会があれば身近にある酒生の史跡や歴史・古墳に触れてみてはいかがでしょうか。

上四区合同特別企画 第4弾 「いきいきバスに乗って防災研修」



必死に机にしがみつく参加者



参加者一行を乗せたバスが、到着!

平成24年10月27日(土)、上四区合同企画「いきいきバスに乗って防災体験」を実施。

今回の企画は、平成23年3月に発生した「東日本大震災」を教訓に、「いつ・どこで・何が」起こるかわからない災害に対して、今一度防災意識を高めてもらうことを目的としました。

ご夫婦で参加された方からは「あらためて防災の必要性を実感した。少しでも今日の体験を生かしたい。」と、みなさんも満足気の様子でした。



運行3年目に向けて

「酒生いきいきバス」は、平成23年4月から、思考錯誤で作成した時刻表と運行コースで動き始めました。

運行協議会の中で、各地区からの意見や要望を持ち寄り、会議を重ね実際の利便性を高めるため、全便をハニー東部店にまでにしたり、冬季のコース変更などを実施してきました。

お年寄りの方や、冬季の中学校通学

地域と共に取り組んだ2年間

「酒生いきいきバス」が試行運転を開始してからまもなく2年が経過しますが、その間、運行協議会を中心に、様々な利用促進に取り組んでいただきました。

例えば、地域内の古墳や歴史的な神社をバスに乗ってめぐる「酒生遺跡巡り」は、地域の歴史的資産を活かした利用促進活動として、地域の活性化や街づくりにもつながる他の地域では見られない特徴的な活動です。

酒生地域が一層豊かで住みやすい地域となるよう、「酒生いきいきバス」も活用しながら、様々な活動に取り組んでいただければと思います。

平素は「酒生いきいきバス」にご乗車いただき、誠にありがとうございます。また、運行協議会各位におかれましては、ひとかたならぬご配慮をたまわり深く感謝申し上げます。

さて、「酒生生き生きバス」は平成23年4月運行開始以来、協議会各位の周知運動やイベント創出などにより人員は前年に比較して増加致しております。しかし、ここ数カ月ほう横ばいとなる月もあるなど、安閑としていられないのが現状です。

今後も運行協議会と連携を密にしながら安全運転・サービス向上を旨として運行に取り組みでまわりたく存じます。

福井市都市戦略部
地域交通課

吉川 貴大
酢屋 泰大

京福バス株式会社
経営推進室企画営業グループ

高橋 和幸
山崎 森央

などに、地域の足として大変喜んでもらっています。

「酒生いきいきバス」がこれからも地域のみなさまに愛され親しまれ、バス利用で笑顔になれるよう努めてまいりますのでどうぞご利用お願いします。

酒生地域コミュニティバス運行協議会

事務局長 清水豊弘

